

【調査研究部門】法政大学の田澤実先生を講師に招いて「教職キャリア研究会（第1回）」を開催しました。

教職キャリア開発センターによる「教職キャリア研究会（第1回）」を平成24年7月2日に開催しました。本研究会は、本学教職員の「教職キャリア」に対する理解を深めることを目的として、教職キャリア開発センター調査研究部門が中心となって企画したものです。

第1回は、法政大学キャリアデザイン学部専任講師 田澤 実氏をお招きし、「キャリアデザインとキャンパスの学び～法政大学キャリアデザイン学部の事例から～」と題した講演が行われました。講演の第1部では、「キャリアとは何か」「キャリアデザインとは何か」といった、キャリア教育を考えていく際の根本的な問いについての解説が行われました。そのうえで、法政大学キャリアデザイン学部の専門教育が「発達・教育キャリア（生涯学習社会におけるキャリア形成）」「ビジネスキャリア（産業社会におけるキャリア形成）」「ライフキャリア（生活の場におけるキャリア形成）」という3つの領域から成り立っていること、それぞれの領域を身近な個人レベルの問題からより幅広い社会レベルの問題まで複合的な視野で学んでいくこと、実社会での実習を重視して体験型科目が設けられていること等が詳しく説明されました。つづく第2部では、法政大学キャリアセンターの取り組みと実践例が紹介され、キャリアセンターに求められる機能やキャリアセンターと教学の連携事例等についての詳しい説明がありました。

講演の後、質疑応答の時間が設けられ、参加者からは、キャリアセンターの取組と正課との学びの接続、教員養成大学におけるキャリアセンターの役割、(本学の基本コンセプトである)「学び続ける教師」と「キャリアデザイン」という概念の類似性、体験型学習(グループワーク)の円滑な運営とファシリテーターの力量育成のための方法、キャリアセンター利用促進のための方法等、多岐にわたる数多くの質問が出され、活発な議論が行われました。

今後も、教職キャリア開発センター調査研究部門では、「教職キャリア」に関する研究会を継続的に企画・開催していく予定です。



新井センター長の開会挨拶



田澤先生のご講演